

# しべつ

# 議会だより

6月定例会

第155号

平成27年8月1日

行政報告…………… 2～3

町政のそこが聞きたい…… 6～9  
(一般質問)

4年間の目標・抱負…………… 10～11  
(全議員)



6月21日(日) 《於:川北生涯学習センター及び川北体育館》  
～北方四島在住ロシア人ファミリー訪問団受入れ交流会～

**川北地区幼小中PTA連絡協議会**

会長:川北中学校PTA会長 櫛谷 祥司

平成8年より、北方四島在住のロシア人ファミリー訪問団を受入れ交流会を催し、地域ぐるみの国際理解教育が推進されている。来年、交流20周年を迎える。

発行/北海道標津町議会

編集/広報特別委員会

# 固定資産税課税誤り判明 再発防止へ

## 金澤瑛町長の行政報告

### 賦課システム不具合

この度、大変遺憾ながら平成27年度固定資産税のうち、償却資産を有する法人や酪農家の方々の課税に誤りがあることが発覚した。

納税者の皆さまに深くお詫びを申し上げるとともに、その経緯について報告する。

事の発端は、平成27年度納税通知書の発送後において、5月19日に償却資産を有する2名の方から資産の変動がないのに課税標準額が上がっているとの問い合わせを受け、直ちに課税業務受託会社であるCCS（中央コンピュータサービス株式会社）に照会し、その調査をしたところ、152件の課税誤りが

あることが判明した。

その内訳は、本来の税額より過少であったもの9件（増額修正される額1万9700円）、本来の税額より過大であったもの143件（減額修正される額644万4900円）となっている。

本町のコンピュータシステムについては、昨年7月に従来使用していたGタウンからWEBタウンという新しいシステムに移行したところであるが、CCSの調査によると移行後の昨年12月にバージョンアップ（ソフトウェアの機能向上や不具合の修正）した賦課システムの一部に不具合があったとのことであ

る。

この件に関して、CCS側は町にに対し、5月21日に状況説明と謝罪、6月8日は社長と常務が来庁し、全面的に会社の非を認めて謝罪を受けたところである。

ご迷惑をかけた納税者の皆さまの対応については、第2期目（9月末）の納期に向けて更正手続きをし、今後、職員が戸別訪問して謝罪と説明を尽くす。

今回の事態を受けてCCS側の対応も遺憾とするところであるが、町としてもチェック体制の甘さやCCSとの連携などにおいて深く反省すべき点が多々あることから、改めてその体制を検証する中で、再発の防止とともに一層の信頼回復に努めていきますので、皆様のご理解を願いたい。

平成 年度 固定資産税の算定基礎

課税標準額	土地	家屋	償却資産	合計
固定資産税				

算出税額	税率	税額	新築軽減等	差引税額	年税額
固定資産税 (1.4/100)					

期別	第1期	第2期	第3期
納付額			
新付税額			

# 久留米大学医学部との 絆深める

久留米大学医学部の「教育関連診療科」として、平成25年10月より5年間の認定をいただき、6月4日に認定病院の現状視察や派遣医師との懇談のため、内科学講座の星野友昭主任教授が来町され、標津病院の入院

患者への病棟回診や派遣医師との協議が行われた。

星野主任教授には、昨年、一昨年に引き続き3回目の来町となり、標津町及び標津病院にとって、大変光栄なことであり、深く感謝を申し上げます。



6月13日に福岡県博多市において久留米大学医学部・内科学講座が主催する医局親睦会が、教育関連病院や医局OB、医局員によって開催された。

当町より私 외에도、大野院長、田中議長、小川副議長、村山事務長の5人が星野主任教



左から小川副議長、金澤町長、星野主任教授、大野院長、田中議長

授のご配慮により初めて招待を受け、参加させていただいた。

この親睦会で星野主任教授より関連病院の理事長はじめ院長先生、医局OBの先生を紹介いただき、内科学講座としての本町への医師派遣に対するご理解を賜った。

# 地熱発電 仮噴気試験 一定レベルへ

本町武佐岳地域において、石油資源開発株式会社、三菱マテリアル株式会社及び三菱ガス化学株式会社の3社共同により、地域発電の事業化に向けた調査が平成25年度から行われてきたが、今般、平成26年度に掘削した2号井の仮噴気試験が実施されているところである。



武佐岳SMMG-2D号井仮噴気試験状況  
写真提供：石油資源開発株

同地域での地熱開発調査は、平成5～7年のNEDO（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の調査以来、20年が経過しているが、今回の「地熱構造試験井の仮噴気試験」では、速報値として毎時25t

程度の蒸気が継続的に噴気することが確認されたことから、現時点において事業者では、経済性を考慮した上で次の調査を進めることができる一定のレベルにあると評価しているところである。

町としては、これから行われるデータ解析等により、地熱発電の事業化の可能性が高まることを大いに期待するとともに、今後の調査が順調に進められることを祈念しているところである。

# 一般会計補正予算(第1号)

(単位:千円)

項目	金額	内容
地熱開発促進調査事業	15,916	武佐岳地域の事業推進、理解を図るための事業の実施
臨時福祉給付金支給事業	7,360	消費税増税にかかる低所得者に配慮した臨時的給付金
子育て世帯臨時特例給付金給付事業	2,598	消費税増税対策(国)の一環として子育て世帯に支給
森林整備加速化・林業再生事業(間伐事業)	11,696	町有林の不良木淘汰、搬出集積工事費等の追加
学校支援地域本部事業	270	地域の将来を担う子ども達のため、学校を核とした地域連携による学校、家庭、地域の協力体制を強化するための事業費
幼稚園運営費	164	幼稚園新規採用職員研修旅費
標津こども園建設事業	3,500	地質調査委託費

## 意見書

○平成27年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

提出者 **大垣 勇** 議員

○道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書

提出者 **大垣 勇** 議員

○義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2016年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書

提出者 **大垣 勇** 議員

○平成27年発生 of 暴風雪による農業用施設被害への支援措置に関する意見書

提出者 議会運営委員長 **木下 孝**

### 議決を求める案件

●標津町過疎地域自立促進市町村計画の変更の1件について議決した変更(事業内容の追加)

- ▼生活環境の整備
- ・ゴミ収集車整備
- ▼医療の確保
- ・標津病院医療機器整備(スプリンクラー整備)

### 規則制定案件

●標津町議会会議規則の一部を改正する規則制定  
第2条に次の1項目を加える

議員が **出産のため** 出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。

●標津町議会傍聴規則の一部を改正する規則制定

●**現行**  
(傍聴席に入ることができない者)

●第7条 次に該当する者は、傍聴席に入ることができない。

(1)銃器、棒、**つえ**その他の他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある物を携帯している者

●**改正後**  
第7条第1項第1号中、「**つえ**」を削除する

### 閉会中の継続調査

●3委員会から申し出があり承認しました

◎議会運営委員会

①本会議の会期日程等会議の運営に関して

②議会活性化対策に関して

◎総務経済常任委員会

①サーモンパークの活性化策に関して

②観光行政に関して

③農林水産行政に関して

◎文教福祉建設常任委員会

①福祉行政の施策に関して

②教育施設の施策に関して

③住宅環境の施策に関して

●期限はそれぞれ9月30日まで

# 第2回 臨時会 5月8日

5月8日に開催された第2回臨時会（改選後初議会）において、議長・副議長の選挙、常任委員会委員・議会運営委員会委員及び広報特別委員会委員の選任を行い、町長提案の監査委員の選任に同意しました。

また、根室北部衛生組合議会議員・根室北部消防事務組合議会議員・中標津町外2町葬斎組合議会議員・根室北部廃棄物処理広域連合議会議員の選出を行いました。



**議長 田中 孝幸**  
**副議長 小川 悠治**

議長 田中 孝幸



副議長 小川 悠治

## 委員会の所属

平成27年5月8日開会の平成27年第2回標津町議会臨時会において、別記の通りになりました。

## 総務経済常任委員会



吉田委員長



石橋副委員長

〈委員定数〉6名  
〈任期〉平成27年5月8日～平成29年4月30日  
〈委員会構成〉

- 委員長 吉田 智
- 副委員長 石橋 昌幸
- 委員 高橋 幹雄
- 委員 金田 照男
- 委員 「山崎 英司」
- 委員 木下 孝

※「」の委員は複数所属

## 文教福祉建設常任委員会



南委員長



大垣副委員長

## 監査委員

〈任期〉平成27年5月8日～平成31年4月30日  
〈議会選出〉石橋 昌幸

## 議会運営委員会



木下委員長



大垣副委員長

〈委員定数〉5名  
〈任期〉平成27年5月8日～平成29年4月30日  
〈委員会構成〉

- 委員長 木下 孝
- 副委員長 大垣 勇
- 委員 小川 悠治
- 委員 吉田 智
- 委員 南 憲治

## 広報特別委員会



大垣委員長



吉田副委員長

〈委員定数〉4名  
〈任期〉平成27年5月8日～平成31年4月30日  
〈委員会構成〉

- 委員長 大垣 勇
- 副委員長 吉田 智
- 委員 金田 照男
- 委員 山崎 英司

## 各組合議会及び 広域連合議会 議員の選任

- 根室北部衛生組合議会議員 田中孝幸・小川悠治
- 根室北部消防事務組合議会議員 田中孝幸・小川悠治
- 中標津町外2町葬斎組合議会議員 吉田 智・石橋昌幸
- 根室北部廃棄物処理広域連合議会議員 田中孝幸・小川悠治
- 南 憲治・大垣 勇
- 根室北部衛生組合議会議員 田中孝幸・小川悠治
- 広域連合議会議員 田中孝幸・小川悠治
- 南 憲治・大垣 勇

## 一般質問

# 町政のそこが聞きたい

平成27年第2回定例会(6月23日)で3議員が一般質問をしました。  
各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

## 小川 悠治 議員

7ページ

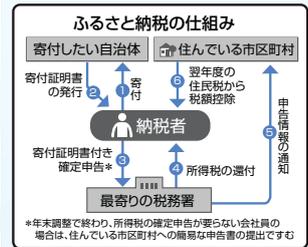
- サービス付き高齢者住宅「しべつはまなす館」の経営について
- 病院は高齢者福祉施設の要



## 金田 照男 議員

8ページ

- 人口減少時代に挑戦する政策パッケージの具体的目標について
- 保育園等の無料化に関する子育て世代の意識と対応について
- ふるさと納税制度の有効活用について



## 吉田 智 議員

9ページ

- ～業務量とセキュリティリスクが異次元の増大～  
マイナンバー制度導入！備えは大丈夫？
- 平成29年「標津こども園」開設—  
幌延町認定こども園「たんたん」の視察研修を！



7月15～16日「認定こども園建設に係わる視察」が行われました。〈教育委員会〉（視察地：東川町及び幌延町）

～標津町議会6月定例会『一般質問』の様子～



小川 悠治議員



金田 照男議員



吉田 智議員

# サービス付き高齢者住宅「しべつはまなす館」の経営について

町に決定権の無い『はまなす苑』はまなす館』。経営に問題あり

## 経営改善無ければ、町の支援は難しい

**問①** 標津福祉会は町が新施設の土地造成やインフラ整備を支援すれば、4億円の建設費と運転資金5千万円を自ら用意し、償還しても赤字になると説明した。しかし、本年2月、町は当初支援に加え、5千万円の運転資金と建設償還金1億8千6百万円の支援が必要とした。



小川悠治 議員

**答** 短期間での大きな修正である。職員採用から物品購入まで、全決定を福祉会がしながら赤字補填は全て町負担との甘えの構造はおかしい。町は強く関与すべき。

**②** 福祉会は大事な組織、町民のため支援は必要だが経営責任は誰が取るのか。甘い経営判断は町民と高齢者を犠牲にする。

町の高齢者福祉との大局的見地からの支援も、町の厳しいチェックと強い指導が反映されなければ認められない。

い。入居者や町の負担軽減を徹底しなければ、将来に大きな禍根を残す。

**答①** ●福祉会の資料は建設ありきで不確かさがあつた。プロの数字を丸呑みにした町の責任もある。根底から検討を加え、親方日の丸的経営感覚の改善を強く求めている。一方、高齢者を放置できない現実と、工事発注済みなど後退できない現実もあり対策を懸命に検討している。



「しべつはまなす館」造成地

## 病院は地域福祉の要

### 『医・福連携』。医療があつて福祉が成り立つ

●町から支援を受けるための予算消化など、経営を考えない無駄使いはあつてはならない。

●病院との連携無くして経営改善はありえない。

**②** 福祉会には口頭確認だけでなく、①町との検討会議や②建設・運営のため院長を含む委員会を直ちに立ち上げ、厳しく関与する。

●新施設運営は、見切り発車とはならない。ギリギリまで検討するため、二ヶ月ぐらい遅れることも想定される。

最大限の努力がされなければ町の支援はありえない。

**問** 病院は福祉施設にとつて最重要不可欠のもの。経営の根幹に位置する。病院を頂点とする施設間の連携があつて町全体の福祉が成り立つ。小さな町の福祉はこれしかない。町のしっかりしたリーダーが必要。

**答** 医療が先にあつての福祉、『医・福連携』と言われている。町・病院・福祉会の連携のうち現場の病院と福祉会の連携が特に重要。その関係が損なわれたら経営の根幹に関わる。

# 人口減少時代に挑戦する 政策パッケージの具体的な目標について

## 政策の成果・目標の説明が必要!

### 長期財政見通しが見つからない中での提示は不可能



金田 照男 議員

**問①**平成27年度から、さらに事業の追加・拡充が行われ、お金の使い道に対し町内には様々な声がある。政策の成果・目標について、具体的な説明が必要である。

**答②**3年で7事業を検証することになっているが、いつ、誰がどのような方法により行うのか。

**答①**この政策は、標準町全域を特区と見立て3年間、大胆な政策に取り組むものである。

5年10年続くというのであれば示すこともできるが、財政見通しがたらない中で、示すことは出

来ない。

当面は人口減少に歯止めをかける努力をしていきたい。

**②**政策パッケージ事業は2年目に入ったが、概ね良好との評価と受け止めている。

現在組織内で検証を行っているが、外部からの検証も不可欠であり、委員について自薦他薦も含めて検討を行っている。政策パッケージは、7年前の町民1300人からの意見が根拠となっている。明日の標準の姿を念頭に戦略を立てている。戦略は大胆、話題、意外性が無ければ駄目と考えている。

#### ※反問権行使

**問**町長 人口減少時代に挑戦する政策パッケージ

ジについて大いに賛成の声が上がっているが、議員は、政策にどのような向き合っているのか、住民説明の限界はあるがどうすれば良いとおもっているか。

**答** 金田議員 4月以降実施の他町からの高校生バス無料化など、今まで通りで良いのではとの声もあり、そうした住民の声を率直に伝えていく。住民理解などについては政策を進めるに当たり、住民の意見を反映できる仕組みも必要である。

## 保育園等の無料化に関する子育て世代の意識と対応について 政策実施に当たり どのようにコンセン サスを得たのか?

### 平成25年の 子ども、子育て ニーズ調査による

**問①**本年4月からスタートした保育園の無料化に

より、子育て世代の経済格差が広がった。公平ではないのではとの声もあるが、政策実施に当たりどのようにコンセンサスを得たのか。

**②**当該制度は、収入の多い世帯ほど、有利となっている。

全体的に負担の見直しを行い、浮いた分のお金を在宅で子供を育てている家庭や経済的に厳しい世帯への支援に充てては如何か。

**答①**平成25年11月に子供子育てに関するニーズ調査を行った。全体で423世帯55.8%の回答があった。その他にも保護者から意見を聴取した。その中で、経済的援助の拡充が上位を占めた。そうした裏付けにより取り組みを行っている。

**②**分かる話もあるが逆差別につながる恐れもある。本事業は、特区3年間ということでスタートした。理解を。

## ふるさと納税制度の有効活用について

### 移住者などからアイデアを募っては

### PRを目的に地元特産品を提供する

**問** 全国的にふるさと納税制度を活用した取り組みが話題となっている。これからはアイデア勝負ということになる。返礼品を特産品のほか、多様なサービスを提供し町の魅力を引き出す視点も重要である。

標準の町が気に入って移住されてきた方など町民からアイデアを募るのも制度を有効利用できる方策と考える。

**答** 今までは、制度の趣旨を守るという考えであったが、PRを目的に地元特産品を提供することを決めた。まずは半歩前進といっていることである。

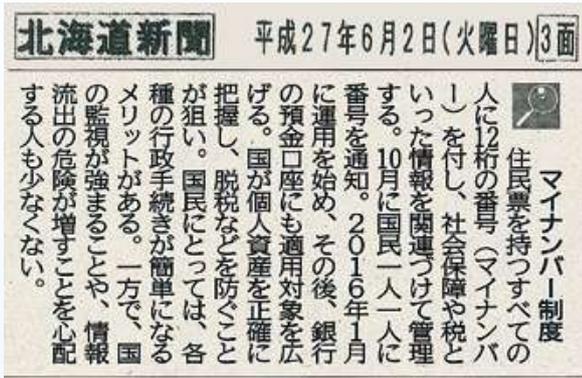
※ 反問権行使…議長から会議への出席を要請された町長等は、議員の質問に対して議長の許可を得て、質問議員に対し逆に質問できること。



吉田 智 議員

「業務量とセキュリティリスクが異次元の増大」  
「漏れた年金情報騒動」を余所に、マイナンバー制度 参考資料1、  
2 が10月より導入される。自治体の業務量とセキュリティリスクが、異次元に増大すると言われている。『備えあれば憂いなし』の故事があるが、「標準町の備えは大丈夫なのか？」との素朴な懸念を抱く。

参考資料1



「業務量とセキュリティリスクが異次元の増大」  
「漏れた年金情報騒動」を余所に、マイナンバー制度 参考資料1、  
2 が10月より導入される。自治体の業務量とセキュリティリスクが、異次元に増大すると言われている。『備えあれば憂いなし』の故事があるが、「標準町の備えは大丈夫なのか？」との素朴な懸念を抱く。

「標準町」の視察研修を！  
平成29年「標準こども園」開設  
幌延町認定こども園「たんたん」の視察研修を！

参考資料2

マイナンバー制度が始まります  
マイナンバーは、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する社会基盤です。

行政の効率化  
国民の利便性の向上  
公平・公正な社会の実現

「たんたん」の現地視察を考慮する  
答 教育長 多くの関係者の意見を聞き、平成21年より、現地視察を各関係施設で行ない、基本設計に反映される様、努めている。幌延町認定こども園「たんたん」参考資料3の※2  
※2 現地視察研修 (7月15~16日)「認定こども園建設に係る視察」が行われました。(視察地:東川町及び幌延町)

参考資料3



幌延町認定こども園「たんたん」

※1 認定こども園…教育・保育を一体的に行う施設で、いわば幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設。都道府県から認定を受ける。地域の実情や保護者のニーズに応じて選択が可能となる様、4つのタイプがある。 ①幼保連携型 ②幼稚園型 ③保育所型 ④地域裁量型 ●「標準こども園」は① ●「たんたん」は③

# としての目標及び抱負を、全議員が記述回答～



田中 孝幸 議員  
(8期目)

## 笑顔のある 町づくりに向けて

当町が直面している「少子高齢化社会」の影響で、集落機能の維持すら危ぶまれてきております。

「人口減少と若者の流出」という現実に、今改めて「町民の本当の豊かさや幸福とは何か」が問われており、人口減少時代に果敢に挑戦するためには、町民力・地域力・行政力そして議員個々の力を結集し、一体となった町づくりを進めていくことが大事なことであり、と考えておりますので、町民の皆さんの一層のご支援とご協力をお願い申し上げ、私の目標・抱負と致します。



高橋 幹雄 議員  
(7期目)

## 社会的弱者に 政治の光を

いま格差と貧困が広がっています。こうした時にいちばんその影響を受けるのが、子ども達であり高齢者です。子どもは、国と地域の宝であり親の経済的事情で勉学の意欲が削がれるようなことがあってはなりません。一方高齢者のみならず、もいま深刻な状況になっていきます。年金の切り下げ、医療や介護の負担増に消費増税です。こうしたところにしっかりと目を向けた政治が求められているのではないでしよつか。



木下 孝 議員  
(4期目)

## 協働で 人と地域が輝く 「まち」の実現

私は、引き続き町民各位と協働で、全力で実現に邁進致します。

議会活動の基本姿勢「きっちりと結果を出す」・「一人ひとりの声を大切に」

- 人口減少克服対策
- 定住人口は産業後継者の婚活推進
- 交流人口対策は、「道の駅」開設
- 基幹産業振興―特に「さけ不漁」対策は緊急の課題
- 「総合的不漁原因調査」の実施
- 「行財政改革」・「議会改革」・「北方領土早期返還の実現」



小川 悠治 議員  
(4期目)

## お約束したことを 行動で示します

① 環境を守り、漁業と酪農 共に生きる

● 漁業と酪農 力を合わせて環境を守り、共存共栄が町の各産業と雇用を支え、福祉、教育も支えます。

② 在宅福祉と介護施設の充実を

● 高齢者が住み続けられる標準町に↓在宅支援の充実を

● いざという時、手の届く福祉と施設入所者の負担の公平化を

③ 医療過疎にさせない町民の安心した生活は医療の確保から病院は福祉施策の一番の要

④ 教育環境の充実を

● 都市部で対応できる学力を↓教育環境の充実



大垣 勇 議員  
(3期目)

## 町民と議会を結び 協働の町創りを

「海・山・川・太平洋」を有している標準町の有利制を最大限生かし、『活力あるまちづくり』『暮らしやすいまちづくり』など、新生プラン・ステップⅡ樹立時の町民会議の話し合いの経過をふまえ、ステップⅡ以降の町づくりを町民全体の声を集約していき町政に反映していきます。そして標準町が推進している「人口減少ストップ」の政策を高く評価し、標準町の活性化に私も努力します。

# 4年間の目標・抱負 ～今後4年間の議会人



石橋 昌幸 議員  
(3期目)

町の行政に三期目として係わる事を微力ながら努力します。私は一期目は日々勉強、二期目はそれを実践し、三期目は自分の考えも入れた行動が出来ると信じています。郷土標津町の方向を情熱をもって見極めて行きま

誇れる郷土は  
暮らしやすい町!!



南 憲治 議員  
(2期目)

議員に再選していただいた皆様に感謝し、5つの約束と実行対策に向かって、一生懸命努力します。

- 1、基幹産業である水産業と農業の振興に取り組みます。
- 2、商工業、観光業の元気づくりを支援します。
- 3、お年寄りを大切にする高齢者福祉対策を推進します。
- 4、『町民の絆』を強める活発な町内会活動の推進します。
- 5、ふるさとの未来を担うリーダーづくりと若者が夢を抱く『まちづくり振興』に努力します。

『ふるさと標津町の  
輝くまちづくり』  
貢献する』



吉田 智 議員  
(2期目)



背景 細見 浩氏<木版画>『春 根室原野』

二元代表制の一翼を担う標津町議会の一員として、政策形成機能及び監視機能の充実強化に努め、人口減少時代に挑戦する当町が標榜する“小さくてもキラリと光るまち標津”の構築の為に、不惜身命、邁進する所存です。

目 標  
住んで良かった!  
暮らして良かった!  
理想郷 標津



山崎 英司 議員  
(1期目)

私は、今後4年間に掲げます。

- 一、本町の基幹産業である酪農業及び漁業の経営安定化の確立を推進します。
- 二、特色のある標津の保育・教育を推進します。
- 三、高齢者・障がい者が安心・安全で心豊かに暮らせる施策の推進をします。

以上の事を町民の皆様のお知恵を借りながら実行できるように推し進めて参りたいと思います。よろしくお願ひ致します。

夢と希望のある  
まちづくりを  
めざします



金田 照男 議員  
(1期目)

ここ数年、水産業や酪農業の厳しい経営状況や人口減少問題などがクローズアップされ、少しずつ町の活力が失われているような雰囲気になっていきます。しかし、町内には元気で頑張っている企業やサークルなどがあります。

これからの町づくりは、正に住民力が問われる時代であり、自らも町の元気づくりに向けた活動を展開し、笑顔で暮らせる町の未来を築いていく一翼を担いたいと考えています。

基幹産業の安定と町の資源を活用した交流人口を拡大させる取組に奮闘します。

元気でー楽しい!  
まちづくり

## 寄稿

# 原点からの地域創生

標津町商工会 会長 篠田 静男

商工会は町内の商工業者の経営状況をどのように改善すればよいかなどの相談や、町の活性化のための活動や提案及び町の福祉等、幅広い地域活性化のための活動を行っています。

しかしながら大都市圏、大企業を除くすべての地方経済は、日々進んでゆく疲弊により、限界集落化による、僻地の小売業者の存続が懸念されています。

町の活性化を語る時「卵が先か、鶏が先か」の話がでます。このことは原点を他人に求める事であり、全てを他人に依存し失敗の原因から先ずは逃げ、取り組みべき事を先送りする理由としてのことです。町の活性化を期待するには先ず、両方が互いに助け合えないと思っています。

標津町は根室市に次ぐ、この地

域の原点であり基幹産業は漁業、農業です。

私たち町民がこの町に集うこととなった原点に戻り、起源からの出発が揺るぎない地域を創りあげていくと信じます。

「鮭の町標津町」と誰もが言うように、その壮大な鮭の一生は私たち町民にとって普遍的な生命、生活の営みを映しています。

我が町を愛することが大切です。自分の住んでいる街を愛さないで自分の町が良くなることは無いと考えます。他所の木に水や肥料を上げても、決して自分の木に綺麗な花は咲きませんし良い実はありません。自分の木の根元を行うことによって丈夫な木となり、私たちの生活の礎となるのです。

バブルを経験した私たちは、自らの行動に対し早急に結果を求め、さらにその結果が大きいこと

を期待します。また社会から高評価を得なければ満足しなくなっています。さらに困ったことには環境の変化に対し一種の拒絶や恐怖感すら持つようになっていきます。先ずは、これらの気運を取り除き、100%、70%の結果ではなくても、1%、0.1%の微細な進歩、改善、変化に達成感や喜びを感じ取れるようになることが必要です。

仕事上、日本の各地に出向き、その地域の活性化への取組と関わる機会が多くなりました。各地の町おこしについて感じることは「ばか者、わか者、よそ者」が関わっていることです。失礼とは存じますが、「市長や町長がばか者を演じ、60代、70代の住民の方々がわか者の町村があり、驚くほどの片田舎に都会から若者が移住や支援にきている」このような経験を活かしながら、商工会、商工会のあり方を考え、住民の方々の協同により良い街並み、人並み創りの実践に努力をしていきます。

## 編集室



標津町議会議員の顔ぶれが変わりまして、広報特別委員の構成も2人が変わりました。

今までと同様に議会の内容を細く知らせる事の出来る紙面にしたいと思っております。

今年も当町の基幹産業である酪農業になくはならない牧草刈り作業も無事終了したという事です。これからはいよいよ秋鮭漁を迎えますが、良い漁に期待したいと思います。

(山崎 英司)



～4年間よろしくお願ひします。～

議長 田中 孝幸

広報特別委員会

委員長 大垣 吉田  
副委員長 勇智

委員 金田 照男  
委員 山崎 英司